

用語解説（五十音順）

解 説	
あ行	
ICT	Information and Communication Technology の略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等）等の情報コミュニケーション技術の総称
生きる力	変化の大きい社会を自分らしく生きるための総合的な力のこと。知識・技能に加えて、自分で考え判断し表現する力、そして学ぼうとする意欲や他者を思いやる心など、これらを身につけることで、課題の発見や解決、協力、挑戦することなどが可能になる。
生命（いのち）の安全教育	生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人ひとりを尊重する態度等を発達段階に応じて身につけることを目指すもの。
ウェルビーイング	単に「健康である」だけでなく、心・体・社会的な面がすべて満たされた状態を指す。ストレスが少なく、自分らしく充実して暮らせることが大切とされ、幸福感や人とのつながり、生活の安定など、幅広い要素が含まれる考え方
AI（人工知能）	Artificial Intelligence の略で、人間の「考える」働きをコンピュータで再現しようとする技術のこと。大量のデータを学習し、パターンを見つけて判断したり、文章や画像を作ったりすることができる。検索、翻訳、運転支援など身近な場面で使われ、生活や仕事を便利にする。
ALT（外国語指導助手）	Assistant Language Teacher の略で、英語や外国語活動の授業において、児童生徒の英語の発音や国際教育の充実を目的に派遣される、外国語を母国語とする外国語指導助手
SNS	Social Networking Service の略で、インターネット上で人とつながり、情報や気持ち、写真などを共有できるサービス。友だちとの交流や情報収集に便利な一方、トラブルや情報の拡散にも注意が必要であり、正しく使うことで生活を豊かにすることができるツール
「親の力」をまなびあう学習プログラム	親が「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていくことを目的に、広島県教育委員会が開発した参加型の学習プログラム

解 説	
か行	
学校運営協議会	地域と学校が協力してよりよい教育環境をつくるため、地域住民・保護者などにより学校の方針や教育活動について話し合うための協議体
学校規模適正化	教科等の知識・技能の習得だけでなく、集団生活を通じて一人ひとりの資質・能力を伸ばしていくために、一定規模の児童生徒集団を確保し、こども達にとって望ましい教育環境を整えること。
冠遺跡群	吉和地域の冠山（標高 1,339m）から噴出した良質の安山岩を加工し石器を製作していた遺跡が、冠高原や吉和盆地一帯で数多く確認されている。なかでも冠遺跡群は、わが国最大の石器製作遺跡の1つで、そこでは旧石器時代～弥生時代までの長期間、多くの打製石器が製作され、中国地方の西部を中心とした各地に運ばれていた。
教科担任制	各教科を学級担任以外の教師や専門性をもった教師が担当して教える制度。先生が得意分野の知識や指導力を生かせるため、より深い学びが可能となる。中学校では一般的で、小学校でも高学年を中心に導入が進められている。
協働的な学び	探究的な学習や体験活動を通して、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を尊重し、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力の育成を目指す学び
心の健康観察	不登校やいじめ、児童生徒の自殺が増加する中、児童生徒のメンタルヘルスの悪化や小さな SOS、学級変容などを一人1台端末等を活用して、教職員が察知し、問題が表面化する前から積極的に支援につなげ、未然防止を図るための取組
5歳児健康診査	就学前のこどもの成長や発達の様子を総合的に確認するための健診のこと。身体健康だけでなく、言葉・運動・社会性などの発達を専門家がチェックし、必要に応じて早期に支援につなげる。小学校入学へ向けて、こどもの健康と発達を安心して整えることを目的としている。
子ども相談室	学校に行けなくなって悩んでいる児童生徒が、学校に復帰できるようにするために教育相談や学習指導等を行っている本市の適応指導教室
子どもつながり支援員	悩みを持つこどもの居場所づくりや教育相談など、こどもの実態に応じてきめ細かな支援を行う市の会計年度任用職員

解 説	
個別最適な学び	同じ目標を全てのこどもが達成するために、個に応じた異なる方法で学習を進める「指導の個別化」と、こどもの興味・関心に応じた異なる目標に向けて学習を深め、広げる「学習の個性化」からなる学び
コミュニティ・スクール	学校運営協議会を設置している学校のこと、保護者や地域住民等がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながらこどもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」への転換を図る仕組み
さ行	
市民センター	社会教育法に定められている公民館の機能を有し、各地区における生涯学習及びまちづくりの拠点施設
市民センター基本方針	市民センターの目指す姿、機能、役割を明確にし、推進体制及び評価の考え方などを示したもの。
社会教育士	地域での学びや社会参加を支える専門職で、住民の学習活動、青少年育成、地域課題の解決などを支援し、学校外の学びを豊かにする役割を担う。地域と人をつなぐ“学びのコーディネーター”として活動を行う。
重要伝統的建造物群保存地区	市町村からの申し出に基づき、伝統的建造物群保存地区で、その価値が特に高いものを重要伝統的建造物群保存地区として国が選定するもの。 令和3年8月に「宮島町重要伝統的建造物群保存地区」として選定されている。
生涯学習社会	国民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会
食育	全ての年齢層を対象に、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる教育
人生100年時代	平均寿命が伸び、多くの人々が100歳近くまで生きる可能性が高い時代を指す。長い人生を安心して過ごすために、健康づくり、学び直し、多様な働き方、地域とのつながりなどが重要になることから、自分らしい生き方を続けるための準備が求められる考え方

解 説	
スクールカウンセラー	児童生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う、臨床心理士等の資格をもつ心理の専門家
スクールソーシャルワーカー	こどもの家庭環境等による課題に対応するため、児童相談所や福祉関係者等と連携したり、教員を支援したりする、社会福祉士や精神保健福祉士等の資格をもつ福祉の専門家
生徒指導規程	学校での生活や行動のきまり、指導の考え方を定めた文書のこと。生徒が安心して学び、成長できるよう、服装や持ち物、生活態度、問題が起きた場合の対応などを示している。一人ひとりの成長と自立を支えることを目的としている（いわゆる校則）。
セーフティネット	社会的弱者に対して、最低限度の生活が出来るようにする生活保護等の施策や仕組の総称
総合的な学習の時間	教科の枠を越えて自分で課題を見つけ、調べ、考え、まとめ、表現するなど、主体的に課題を解決する力を養う探究的な学習を行う時間。地域や社会の問題、環境、福祉など身近なテーマを扱い、体験的な活動を通して主体性や創造性、学ぶ意欲を高めることを目的としている。
た行	
確かな学力	知識・技能を身に付けるだけでなく、それを使って考え、判断し、表現できる力のこと。知識・技能に加え、思考力や学ぶ意欲、他者と協力する姿勢などを含む、学びの土台となる力を指す。社会の変化に対応し、主体的に学び続けるための力として重視されている。
地域学校協働活動	幅広い層の地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動
チーム担任制	1つの学級を複数の教員で担当し、役割を分担しながら児童生徒を支援する仕組み。教員同士が連携することで、一人ひとりへのきめ細かな指導が可能になり、学習面・生活面のサポート体制も強化される。教師の負担軽減にもつながる新しい担任の形
中央教育審議会	国の教育政策について専門家が調査・審議し、文部科学大臣に意見を述べる機関。学校教育・社会教育・大学など幅広い分野の課題を検討し、教育の方向性や制度づくりに重要な役割を果たしている。

解 説	
超スマート社会 (Society5.0 時代)	AI やロボット、IoT などの先端技術を社会全体に活用し、人々の生活をより便利で豊かにする未来の社会像。必要な情報やサービスが誰でもすぐに利用でき、高齢化や災害などの課題解決にも役立つ、人間中心の新しい社会をめざす考え方
DX	Digital Transformation の略で、デジタル技術を使って仕事の進め方や組織のあり方を大きく変え、より価値の高いサービスや仕組みを生み出すこと。単なる ICT 導入ではなく、業務の効率化や新しい価値の創出など、社会や暮らしをより良くする変革を意味する。
デジタル学習基盤	こどもたちがパソコンやタブレットを使って学べるようにするための、学校のデジタル環境全体のこと。学習用端末、ネットワーク、クラウドサービス、教材データなどが含まれ、これらを整えることで、一人ひとりに合った学びや協働的な学習を支える土台になる。
デジタル・シティズンシップ教育	優れたデジタル市民になるために必要な能力を身に付けることを目的とした教育で、社会にスマートフォンやタブレットなどのデジタル端末が急速に普及するのに合わせて、世界中で取組が始まっている。
伝統的建造物群保存地区	城下町、宿場町、門前町など全国各地に残る歴史的な集落・町並みを保存するため、文化財保護法に基づき、市町村が伝統的建造物群保存地区として条例で決定するもの。 巖島神社の門前町として形成された地区 16.8 ヘクタールを、令和元年 6 月に「宮島町伝統的建造物群保存地区」として決定している。
島民	「宮島に暮らす人」、「宮島で働く人」、「宮島に想いをはせる人」、「宮島を訪れる人」など、宮島に関わる全ての人を指しており、宮島まちづくり基本構想（令和 2 年 3 月策定）で定義されている。
読書活動推進員	市内の小中学校において、特色ある読書活動、読書指導の推進及び学校図書機能の充実を図るための取組を補助する市の会計年度任用職員
特別支援教育	幼児児童生徒の自立や社会参加を図るため、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、障がいによる生活上や学習上の困難を克服するように行う指導や支援
特別支援教育アドバイザー	特別支援教育士資格認定規定等による資格等、発達障害を含む障がいに関する専門的知識・経験を有する者で、市内の幼稚園、小・中学校における特別支援教育体制の推進を図る市の会計年度任用職員

解 説	
特別支援推進研修	障がいのある子どもや特別な配慮が必要な児童生徒への理解と支援力を高めるために行う研修のこと。 教職員が発達特性や合理的配慮、指導方法を学び、学校全体で一人ひとりに応じた適切な支援を行うことができる体制づくりを目的としている。
特別の教科 道徳	学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要となるものであり、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを目標とし、小学校では平成30年度、中学校では平成31年度（令和元年度）より教育課程に位置付けられた。
は行	
二十歳のつどい	社会の一員としての責任を考え、大人としての自覚を深めるため、20歳を迎えたことを祝福する行事で、以前は成人式として開催していたが、令和4年4月1日より成年年齢が18歳に引き下げられたことを受け、名称を変更した。
働き方改革	働く人が健康で安心して働き続けられるよう、働き方を見直す取り組みのこと。長時間労働の是正、休みやすい職場づくり、生産性向上、柔軟な働き方の導入などを進める。仕事と生活のバランスを整え、多様な人が力を発揮できる社会をめざす考え方
はつかいち架け橋カリキュラム	幼保小の円滑な連携・接続のために、こどもに育まれようとしている力やこどもの育ちの過程を探り、理解を深めたり、幼保小の先生が、共通の視点をもってこどもの姿について、語り合ったりするきっかけとなるツール
廿日市市こどもの読書活動推進計画	子ども達の一層の読書活動の充実と、読書環境づくりを図り、「自ら読書に親しむ子ども」の育成を目指すための計画
廿日市市図書館基本計画	これまで、本市の図書館が果たしてきた役割を確認し、他市との比較や各種アンケート結果も踏まえつつ、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までの10年間の図書館の在り方を明らかにすることを目的に策定された計画
廿日市市立小・中学校の学校規模適正化に関する基本方針	児童生徒数の変化に伴って教育環境の改善が必要となった場合に、時機を逸することなく、保護者、地域住民などと一緒に、子ども達にとって望ましい教育環境の確保に取り組んでいくための基本的な方針
一人1台端末	すべての児童生徒が自分専用のパソコンやタブレット端末を持ち、日常的に学習で活用できる環境のこと。調べ学習や協働学習、個別の復習・発展学習などに活用され、一人ひとりに合った学びの実現に不可欠な基盤

解 説	
ファシリテーター	協議等の場において、中立な立場を守りつつ、参加者の心の動きや状況を見ながら進行していく役割
部活動の地域展開	学校の部活動を地域のスポーツクラブや文化団体などと連携して行う取組。教職員の負担軽減を図りながら、専門的な指導や継続的な活動の場を確保することを目的としている。生徒は学校の枠をこえて、多様な人と関わりながらの活動が可能となる。
不祥事防止対策委員会	組織内で起こる不正行為や不適切な行動を未然に防ぐため、各学校に設置される委員会。原因の調査、再発防止策の検討、研修や規程の見直しなどを行い、組織の信頼性を高め、透明性と公正性を守るための重要な仕組
フリースクール	不登校の児童生徒が学校以外で学んだり友達と過ごしたりできる居場所のこと。
ふるさと学習	児童生徒が、「ふるさと廿日市」への愛着と誇りをもてるように、魅力ある郷土の歴史、文化、自然など、先人の努力や知恵を学ぶことや郷土を素材とした体験的な活動を通して、課題を自ら見だし、協働して探究する学習
文化財保存活用地域計画	市が目指す目標や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した文化財の保存及び活用に関する総合的なマスタープランおよびアクションプランを定めたもの。
放課後子ども教室	地域の大人の協力を得て、学校等を活用し、こどもたちの活動拠点（居場所）を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する活動
ま行	
宮島細工の製作用具及び製品	宮島に伝わる伝統的な木工芸技術。木工製品の宮島細工には、杓子などの「刳物細工」、丸盆などの「挽物細工」、製品の表面に精巧な文様を施す「彫物細工」の三つがある。宮島細工は、厳島神社の造営・修理などに携わった宮大工や指物師の技術を基盤として発展した木工製品であり、材料となるケヤキやクワなどの原木の木目や手触りを生かした仕上げを特徴とする。有形民俗文化財に登録見込みの宮島歴史民俗資料館収集資料は、カンナ類や足踏みロクロ、彫刻刀など、宮島細工に特有の三つの細工技術を伝える一連の製作用具と各種の製品で構成されている。
未来を話そう！はつかいち子ども議会	廿日市市内の中学校に通うこども達が、子ども議員として廿日市市のまちづくりについて考え、魅力的なまちづくりに向けた意見や提案を行う。主体的な社会参加へとつながる取組